

# 「共謀罪」再び日本孤立の道か

作家

(東京都 69)

日本にも多くのファンを持つウィーン・フィルハーモニー管弦楽団だが、ナチスの時代、ユダヤ系の楽団員を追放し、中には強制収容所で殺された団員もいた。この「負の歴史」が、今年広く展示され、戦後生まれのさらに後の世代の団員たちが、同じ過ちをくり返さないために過去と向き合おうとしている。

ところが、日本では、すでに歴史となった過去の侵略や虐殺すら否定しようとする人々がいる。軍国主義の精神そのものだった「教育勅語」さえ評価するとは、もはや海外との歴史認識の差のレベルではない。

その人々が今手にしようとして

いる最悪の武器が、戦前の治安維持法に重なる「共謀罪」法である。これがなければ五輪が開けない？ ならば五輪を中止すればよい。たったひと月ほどの「運動会」のために、国の行方を危うくする法律を作るとは愚かの極みだ。五輪は終わっても法律は残るのだ。

法案に賛成の議員は、自分が後の世代に災いをもたらそうとしていることを自覚しているのか。目先の目的のため憲法を投げ捨てて恥じない安倍政治は、日本を再び世界から孤立させるだろう。

安倍さん、あなたが「改憲」を口にするのは100年早い。

## 「共謀罪」審議 500時間でも足りぬ

大学教員

(埼玉県 63)

「共謀罪」法案の対象となる277の罪と、安倍晋三首相がテロを防ぐためには入らなければと強調する国際組織犯罪防止条約（パレルモ条約）と、どう関係があるのか全くわかりません。「共謀罪」法案は、どうテロを防ぐのか。政府は以下の点を説明してください。

まず、パレルモ条約は金融犯罪の取り締まりを主な目的に採択された条約なのに、それを批准しないとテロが防げないという理由。次に、オウム事件など過去の犯罪と照らし合わせ、「共謀罪」法が

あれば未然に防げたのか、という説明。また、具体的な危険性がある強盗予備罪の方が、準備行為それ自体に危険性がない強盗の共謀罪よりも、刑が軽いといった矛盾。最後に、監視社会になることへの懸念を払拭し、冤罪を生み出しかねない状況を防ぐ方法。

衆院で30時間、参院で20時間という審議時間で、法案に賛成した議員は納得のいく説明ができますか。少なくとも277項目の2倍の500時間超は必要ではないでしょうか。拙速な審議によって、民主主義国家としての信頼が失われないうち、特に首相には真摯に対応していただきたいです。

## 「共謀罪」 誰のための法律？

高校生

(大阪府 17)

「安」などの問題は解決しないままだ。

私は今、ものすごい恐怖を抱いている。「共謀罪」によって、広い範囲で怪しい人を拘束できるようになる。自分の意見をあまり言えなくなり、政府の言いなりになりかねない。そんな社会はかなり生きづらくなってしまふ。

そんな不安要素のある法律を、政府は「国民の安全のため」と言っている。

それにしてはかなり内容が不明瞭だ。国会での議論も不十分で納得いくものではなかった。私たちが本当に気にしている「一般の方々は対象か」「監視社会となる不

国民のためというのなら、しっかりと話し合いをして、不安を解消してほしい。今の状態では、国民より政府や権力のある者のための法律であるように私は感じる。私たち国民の考えを制限し、都合の悪い者たちを排除することで、自分たちに都合の良い政治を勝手にすすめてしまいたい。

日本は民主主義の国はずだ。

私たち国民が自由を奪われるのはおかしい。そんな恐ろしい世の中になっちゃってはいけない。

そうならないために、私は、諦めずに反対を主張していきたい。

## 人権侵害の「共謀罪」は違憲

会社員

(京都府 49)

「共謀罪」をめぐる国会でのやりとりを聞き、怒りと虚無感と、ヒトラーに抵抗したドイツの牧師マルティン・ニーメラーの言葉が、頭の中を血液が逆流するように巡ります。

「ナチ党が共産主義を攻撃したとき、私は自分が多少不安だったが、共産主義者でなかったから何もしなかった。(中略) ナチ党はついに教会を攻撃した。私は牧師だったから行動した。しかしそれは遅すぎた」

報道機関が「一般人は捜査の対象外」という政府の主張だけをそのままとりあげていては、

問題の本質から目をそらさせてしまいます。自分に関係ないと思

っている「一般人」を気づかせることができません。問題なのは人権侵害の仕組みが作られようとしていることで、「共謀罪」自体が違憲だということです。

「共謀罪」への危機感が高まってきたようですが、政権にしがみつき、初代会長が治安維持法違反で投獄され獄死した歴史に学ばぬ公明党・創価学会には期待できません。

関係ないと思っている多くの人が問題の本質を把握するためにも、ニーメラー牧師の言葉を皆が自分事として考えてほしいです。